

## 指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名 : 大濠公園能楽堂
- 2 指定管理者 : 株式会社西日本新聞イベントサービス
- 3 指定期間 : 平成31年4月1日～令和6年3月31日
- 4 施設設置目的 : 能楽を始めとする伝統文化を継承保存し、併せて県民文化の振興普及に寄与する。
- 5 管理運営についての点検結果（令和2年4月1日～令和3年3月31日）
  - (1) 点検方法 : 事業報告書、現地確認・ヒアリング等をもとに、指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
  - (2) 点検結果 : 別添のとおり

## 1 管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性の確保）	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の設置目的を理解し、条例等規定の遵守及び公平・平等性に配慮し、県民文化の向上に努める。</li> <li>マスコミ各方面とのネットワークを活かし、テレビ・新聞等を活用してより広範囲への伝統芸能普及に取り組む。</li> <li>施設の巡視、アンケート調査などを実施し、管理運営に反映させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>能楽堂を伝統芸能の活動と鑑賞の場として常に良好な状態で提供することに努めている。</li> <li>能楽入門講座の実施により、鑑賞の機会を広く県民に提供し、県民文化の向上に努めている。</li> <li>西日本新聞をはじめとする各種媒体を通じた能楽公演の積極的な広報により、広く能楽等伝統芸能の普及に努めている。</li> <li>能楽公演と快適な利用のために、利用者の声や日常巡視をもとに、利用者の転倒リスクを軽減するため正面玄関入口の一部をスロープにするなど施設設備の改善やサービスの向上に努めている。</li> </ul>
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統芸能はもとより、新しい分野での活用を企画、提案し、施設の認知度向上と利用促進を図る。 （目標公演数 100 件）</li> <li>伝統芸能の普及、活性、継承を目的に、能楽堂の空間、立地を活かした自主事業に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設のPRと積極的な企画営業に取り組み、能楽をはじめとする伝統芸能の公演に加え、将棋のタイトル戦である「第61期王位戦第4局」の開催を誘致。また、能楽堂の認知度向上のため、対局の写真パネル、藤井聡太二冠・木村一基九段のサイン色紙や封じ手のレプリカを正面玄関横に常設展示するためのブースを新たに整備している。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、施設内にサーモカメラ、空気清浄機、消毒液の設置やトイレの乾式床への改修に加え、業種別ガイドラインに基づいた施設管理を徹底して実施。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベントの自粛や天井の耐震化工事による休館（1～3月）により、利用者数、公演件数、施設稼働率が減少。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">           利用者数：5,231人（対前年度△82.6%）            公演数：21件（対前年度△55件）                      ※21件のうち、能楽以外4件            施設稼働率：49.0%（対前年度△25.8%）         </div> </li> <li>伝統芸能の普及、活性化、継承のため、若手能楽師を起用した公演や初心者を対象とした能楽体験イベントなどの自主事業を5事業予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い中止。  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;">           〈予定していた事業〉            ①定例公演：「能楽堂 Jazz ナイト」            ②公 演：「WAKATE 能楽隊公演 ふれあい能 Vol. 2」、「狂言師 VS 講談師」、「女性能楽師による能への誘い」            ③育成公演：「子ども能楽教室」            ※前年度事業数：4事業、前年度参加者数1,147人         </div> </li> <li>自主事業参加者を対象に、定期的に能楽堂での公演情報を送付し、鑑賞者の定着を図っている。 ダイレクトメール会員数：1,611人</li> </ul>

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> <li>稼働率の向上と自主事業の実施により、収入を確保する。 （目標施設利用料金収入 19,252 千円）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>能楽公演の他に、その他のジャンルの公演やイベントの実施、楽屋の部分利用等による施設利用促進を図り、利用料金の確保に努めている。</li> <li>各種助成事業の活用や集客の見込める自主事業により収入の確保に努めることとしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うイベントの自粛により利用料金収入が減少。</li> </ul> <p>（利用料金収入実績：5,454 千円（対前年度△62.3%）          県委託料（指定管理料）：21,711 千円（対前年度+143.1%）          ※上記県委託料は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う指定管理料の補填料（10,163 千円）を含む。）</p>
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> <li>自主事業の企画や施設の利用促進のため、企画営業的な業務の経験がある職員をマネージャーとし、施設の現状を熟知し利用者対応経験のあるスタッフを配置する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業や広報等の企画営業、施設管理や利用者対応等の施設運営の担当を明確化し、それぞれ経験を積んだ職員を配置している。</li> <li>借入金はなく、健全な財務体質を維持している。</li> </ul>
⑤施設管理上の個別事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護法、福岡県個人情報保護条例に基づき作成している個人情報保護マニュアルにより、適切な管理を行う。</li> <li>緊急対応マニュアルに基づき、災害の状況に応じて、西日本新聞イベントサービス全体で災害、安全対策を講じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護マニュアルに基づき、個人情報管理の総括者を配置し、個人情報保護に努めている。</li> <li>緊急対応マニュアルを整備し、職員への周知徹底と定期消防訓練（年2回）を実施している。また、毎回公演時に非常の際の導線確認のアナウンスを実施するなど、安全対策を講じている。</li> </ul>

## 2 点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容のとおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容下回った）	<p>【総合コメント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地方新聞社グループのネットワークを活かした情報発信を行うことで、伝統芸能の普及や能楽堂のさらなる認知度向上に努めている。</li> <li>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、施設利用者数、公演回数等は減少したが、新型コロナウイルス感染症対策を講じたうえで事業に取り組んでいる。また、伝統芸能の普及・振興を図るため、初心者に向けた能楽鑑賞の機会を提供している。</li> <li>大濠公園能楽堂で初めて将棋の王位戦を開催するなど、能楽のみにとどまらず、様々なジャンルでの利用促進に取り組み、収入確保に努めている。</li> </ul> <p>以上のとおり、施設の設置目的に沿って、概ね提案どおりの運営が行われている。</p>
---	--